

京都:『みんなで歩こう東海道五十三次』のゴール地点

京都は、日本の歴史と文化が息づく特別な場所です。『みんなで歩こう東海道五十三次』の旅の終着点として、多くの人々にとって特別な感慨を抱かせる都市ですが、ここではゴール地点としての京都がもつ逞しさと優しさについて触れたいと思います。

新たなスタート:個人事業主としての挑戦

65歳という節目で定年を迎えた後、京都を拠点に新しい事業を始めました。これには先輩からの紹介があり、製品試作の支援という専門的な役割を担うこととなりました。この仕事では以下のプロセスをアレンジし、プロジェクトの成功を支援しています。

- 要求仕様書の作成
- 要件定義から構想設計
- 詳細設計と製作
- 設計検証、機能検証、そして製品検証

開発のドキュメントベース管理と良好な人間関係の維持を何よりも大切にし、試作の完了を見届けるまでプロジェクトに関わっています。

逞しさにあふれる京都

京都は、逞しさに満ちた街の側面を見せてくれます。例えば、70代・80代の方々が現役で活躍しており、65歳の私が「若くて羨ましい」とまで言われるほどです。そのような先輩方と共に働く環境は、自分自身をより逞しく成長させてくれます。

優しさを感じる京都

京都のもうひとつの魅力は、人々の優しさです。老若男女問わず、私の仕事を支援して下さる方々が多い土地柄です。具体的には、以下のような形の支えがあります。

- 収入面では、電気・ソフト分野の駆け出し個人事業主の売上相場が「50万円/月（税引き前）」となり、旅費交通費は別途支給されることもあります。
- 仕事の進め方や事業運営に関する相談に気軽に応じてくれる方々がいること。

このような支援のおかげで、事業を継続していくことが可能となりました。

未来への展望

現在は自分の事業を確実に継続することに集中していますが、将来的には仕事を人に紹介できる立場を目指しています。後輩たちも次々と二度目の定年を迎える中で、彼らを支援する体制を整える準備を進めています。

京都という街は、逞しさと優しさに満ちており、その両面から私を支え続けてくれます。

以上です。